

首都直下地震に備える

事前防災

—誰にでもできる自助と共助

講師

中林 一樹 氏

明治大学 政治経済学研究科・危機管理研究センター 特任教授
日本災害復興学会 会長
中越防災安全推進機構 理事長
阪神淡路大震災記念/人と防災未来センター 上級研究員
首都大学東京 名誉教授



災害が発生したとき、誰が「私を守り、私の家族を守ってくれる」と思いますか。あなたは「自分よりも、自分の家族よりも先に他人を助ける」ことができますか。災害から自分を守り、家族を守るのは、「自分と家族」しかないのです。地域のみんが「自助」を考え、工夫し、実行することが、災害に強い地域社会の基本です。自助の実践が、災害発生時にも地域

に余力を残すことが可能となり、その余力が地域でみんなが助け合う「共助」を可能とするのです。つまり、＜自助なくして共助なし＞であり、＜共助とは自助の証＞なのです。でも「自助」って、何したらいいの？ その自助の取り組みとは「事前防災」です。被害軽減という「事前に実施しておく取り組み」と、災害準備という「災害発生に備えて事前に準備しておく取り組み」です。ちょっと工夫するだけで、誰にでも自助はできるのです。

11月30日(月)午後2時30分～5時
市民プラザWAVE101 中ホール

費用：無料 定員：先着80名 (直接または電話、メール(住所・氏名・電話番号)でお申込み)

うらやす市民大学事務局 〒279-0011 千葉県浦安市美浜3-15-1

TEL：047-351-4811 MAIL：shimindaigaku@city.urayasu.lg.jp

うらやす市民大学ホームページ <http://www.urayasu-cc.com/>